

# 目 次

## 農学部

### 農学科

#### 暖地農学コース

NO	氏 名	題 名
1	佐々木 周	「農家」の国際協力事業に対するインセンティブ越知町におけるJICAプロジェクトを事例にー
2	千且 展三	稲の感光性に関する晩生遺伝子が倒伏抵抗性および関連形質に及ぼす作用

#### 自然環境学コース

NO	氏 名	題 名
1	矢部 優太	土佐湾陸棚域に分布する底生魚類の季節変化
2	山根 亘	高知県の海岸沿いにおけるノジギクとシオギクの分布
3	林 伸二郎	降雨浸透による蛇籠擁壁と背面土の変形特性に関する研究

#### 流域環境工学コース

NO	氏 名	題 名
1	中村 峻輔	高知市および近郊の河口域の潮間帯底泥におけるマイクロプラスチックの分布
2	山崎 大二郎	農地の水分管理による風食抑制の検討

#### 森林科学コース

NO	氏 名	題 名
1	山本 颯太	千本山林木遺伝資源保存林における44年間の森林動態

#### 国際支援学コース

NO	氏 名	題 名
1	米村 タケル	体表粘液を用いたマダいの生理状態の評価

# 農林海洋科学部

## 農林資源環境科学科

### 暖地農学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	石川 いずみ	住宅カビに対する木材の抗菌性
2	梅津 満帆	散乱光フィルム下におけるイチゴ高設栽培
3	大橋 哲哉	凍結乾燥によるウシ精子の長期常温保存に関する研究
4	岡田 実柚	シラン( <i>Bletilla striata</i> )の種子発芽に関する研究
5	岡 潤	水害からの農業生産復興事例にみる災害に強い農業構造の要件 ー岡山県倉敷市真備町H地区を対象としてー
6	岡村 早穂	凍結乾燥ウシ体細胞による核移植技術の高度化
7	金子 朋実	ニラの生育ならびに抽苔に及ぼす電照処理光質の影響
8	川崎 瞭	地域産品の地域ブランド化と町興しに関する考察 ーごめんケンカシャモを対象にー
9	菊池 駿斗	山菜の栽培化による地域振興 ー高知市鎮地区におけるイタドリを事例としてー
10	公文 省吾	鳥獣被害対策用防護柵の維持管理に影響を及ぼす要因 ー高知県における鳥獣被害対策専門員制度に注目してー
11	小島 歩未	土壌・植物における水分状態のモニタリングとそれに基づく灌水自動制御技術の開発
12	佐村 充裕	高知県に自生するシオギクの雑種調査
13	澤田 真帆	徳島県におけるれんこん生産者の販路選択に関する研究
14	末澤 佑樹	平場でのユズ栽培における施肥量の違いが樹体成長と収穫量に及ぼす影響および葉中窒素含量の非破壊的測定
15	高橋 こころ	ヨツモンカメノコハムシ幼虫における糞の背負い行動の果たす役割について
16	田邊 菜津美	バンダ( <i>Vanda coerulea</i> )の組織培養に関する研究
17	佃 佳香	局所環境制御を活用した生産性向上手法に関する研究
18	野村 宏晃	水稻玄米における白未熟粒の発生、粒径および胚乳細胞内部形態の関係
19	濱 匠	稲の感光性に関する晩生遺伝子が収量および関連形質に及ぼす作用
20	濱田 奈々子	ソーラーシェアリング下の環境評価と作物生育特性 ～光環境と生育指標の現地計測～
21	藤井 詩乃	ソーラーシェアリング下の環境評価と作物生育特性 ～透過型ソーラーパネルの利用可能性調査～
22	松本 彩華	稲の <i>sdf-d</i> (低脚烏尖矮性遺伝子)が収量および関連形質に及ぼす作用に関する研究
23	真鍋 伶菜	植物成長調整物質を用いた種なしスイカ作出技術の実用化に関する研究 ー省力化と処理濃度の改善ー
24	丸岡 美裕	キュウリの温室栽培試験と生長モデリング
25	三田村 翔太	ウルトラファインバブル水の灌水および地下灌水がカキ、ユズおよびブルーベリー幼木の栄養生長に及ぼす影響
26	村元 亮介	オキナワセッコクの組織培養に関する研究
27	橋本 有生子	<i>Urf</i> 遺伝子を有する <i>japonica</i> 水稻系統の収量と倒伏抵抗性に関する研究

自然環境学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	阿部 晴希	センダングサ由来の不快感虫防除技術の開発
2	安東 遼太郎	散水担体ろ床におけるサカマキガイの存在量および生物膜摂食速度に関する研究
3	井奥 裕太	捕食性アザミウマに対するカシノキマタハダニの巣網と雌成虫の防衛効果
4	池田 俊寛	泥炭に含まれるセメント硬化阻害因子の簡易評価方法の開発
5	井原 章吾	ミヤラナミハダニの糞を用いたDNA増幅の研究
6	芋田 直也	カシノキマタハダニの標高による臨界日長の変異
7	洲合 隼輝	クリサキテントウとナミテントウにおける形質置換
8	西村 夕莉	葉の水ポテンシャルと温度パラメータ-LT50に着目したチャの耐凍性の評価とその季節変化
9	野村 千尋	嗅覚センサーを利用した害虫発生の検出技術の開発
10	畑田 海輝	ハダニの脚の形態と闘争の勝敗の関係について
11	服部 恭平	トラップで得られたスズメバチ属3種の個体群動態の解析
12	濱口 直也	土着天敵メスグロハナレメイエバエの生物的防除資材としての有効性に関する研究 —生産コスト及びチビクロバネキノコバエに対する捕食能力について—
13	藤澤 郁実	酸化還元反応が天然精油の抗酸化性に及ぼす効果
14	藤原 祐太	アキアカネの高知大学物部キャンパスにおける生息状況とジアミド系殺虫剤に対する感受性について
15	松本 いづみ	ビワコカタカイガラモドキにおける寄生蜂群集の地域間比較と季節変動
16	横佐古 優太	集落ぐるみの大規模防護柵設置に関する阻害要因の克服方法について—高知県内7集落を事例として—

森林科学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	池田 昌代	地域産材を利用した木造住宅推進事業の評価 —香美市木材住宅支援事業を事例として—
2	小林 皆登	ミカンコナジラミとクロツヤテントウにおける時系列解析を用いた種間関係の解明
3	小林 由佳	間伐木/将来木の選定における無人航空機の援用
4	篠崎 翔一	フタバガキ科巨大高木種のマस्टィング期間中の土壌栄養塩動態
5	杉山 優真	高知県における空き家バンクの運営状況と課題について
6	中村 知道	絶滅危惧種ハナガガシの高知県における生育環境評価
7	野口 慶悟	作業道開設後の林内植生及び林冠状況の変化について
8	長谷川 琴音	演習林における広葉樹の収穫試験作業
9	羽根 央弥	きのこに含まれるキチン量の変動
10	濱田 将吾	オゾン処理により回収した廃業紙おむつに含まれるパルプのアップサイクル
11	藤井 威住	マレーシア低地熱帯雨林における樹木の木部構造と生理生態特性の関係
12	藤井 美紅	紙の書きやすさに関する科学的因子の解明
13	松本 貴斗	森林所有・管理の現状とこれからの利用について —橋原町を事例として—
14	村上 太一	だ液中のアミラーゼ活性とストレスの関係性

生産環境管理学プログラム

NO	氏名	題名
1	池内 晃	炭化した木質系廃棄物の無機混和材としての利用性に関する研究
2	伊藤 大晃	セルロース及び豆類由来の難消化性素材の食品への活用とその品質評価
3	今井 百合代	ソーセージに混入する非金属異物の検出技術に関する基礎研究
4	橋谷 昌宏	回転円板型促進酸化装置による養殖廃水中オキソリン酸の除去特性
5	加藤 隆丈	治山ダムの形状の測量における3DレーザースキャナとUAV/SfMの比較
6	古賀 光太郎	回転円板型促進酸化装置による青枯病菌 <i>Ralstonia Solanacearum</i> の除去特性
7	菅 真彩	高知龍馬空港周辺における航空機騒音問題
8	田中 隆治	浮遊・浮葉植物がため池の水理環境に及ぼす影響について
9	辻 碧	小豆島の底泥の建設材料としての利用性に関する基礎的研究
10	中山 隆史	風の持つエネルギーと土壌中の水ポテンシャルを用いた風蝕量解析
11	西岡 大賀	豪雨時の都市排水機構を踏まえたマイタイムライン防災に関する研究
12	野田 裕貴	ディープラーニングを用いた閉鎖性水域の環境動態の予測
13	橋本 千裕	高知県における紅茶生産の展開
14	冷川 侑哉	ため池における植生繁茂と底質分布との関連性
15	増田 直斗	水路における騒音発生に関する影響因子の検討
16	又川 和斗	効果的な休憩時間の設定による農作業負担軽減の検討
17	松浦 忠寅	地理情報システムを用いたハザードマップへの情報付与
18	森田 彩水	セルロース粉末を適用した液状食品の加熱形態による分散性・粘性への影響
19	吉本 実優	風蝕発生時の土壌水分 -火山灰土と豊浦砂の事例-

早期卒業

農林資源環境科学科

暖地農学主専攻領域

NO	氏名	題名
1	吉村 諒介	1-ナフタレン酢酸およびエチクロゼート処理が‘土佐文旦’の新梢と根の伸長および果実の肥大に及ぼす影響

農芸化学科

NO	氏名	題名
1	井ノ上 侑奈	乳酸菌を利用した地場産茶葉の乳酸発酵法の検討
2	植田 有希子	タバコ植物 <i>Nicotiana benthamiana</i> 由来ホスホリパーゼC1は過敏反応を抑制する
3	上松 甚吉	青枯病菌 <i>Lon</i> プロテアーゼは3型分泌装置の安定性に寄与するのか？
4	江越 由佳	クスギ樹液成分変化に関する研究
5	大久保 早季	ゼブラフィッシュ未成熟卵子の高浸透圧傷害のメカニズム
6	奥原 歩音	ヨーグルト製造時における多機能性黒酵母 $\beta$ -グルカンの添加効果
7	甲斐 雄士郎	高知県産未利用植物由来の生理活性物質の単離・同定
8	梶田 佳哉	硫酸化多糖ウルバン質化海洋細菌の遺伝子操作系の開発
9	堅田 悠里	花の香り成分とスズメバチの行動に関する研究
10	川澤 龍也	アルファルファ植草土壌の微生物群集解析
11	川原 卓	経節の保蔵条件と品質劣化の関連
12	北沢 環	ブタ卵子の低温傷害における細胞内 $Ca^{2+}$ を介した情報伝達経路
13	楠瀬 希織	セジロウカカの産卵刺激物質の探求
14	菜原 里加子	微生物型人工シデロフォア—鉄(III)の植物への鉄供給能を向上させる試み
15	合田 真司	貝化石土壌における植物の鉄欠乏誘導条件の検討
16	河野 佑芽	ビルビン酸低生産性清酒酵母の育種とクラフトビール製造に適した野生酵母の検討
17	小林 耕野	フィリピン国マヨン山の火山灰土壌の特性—農業形態に着目して—
18	斉藤 康平	塩類集積地におけるアルファルファの生育と土壌理化学的性の関係
19	澤田 真緒	ゼブラフィッシュ未成熟卵子の高浸透圧傷害に関するプロテアーゼ
20	園田 優香	シャベロン共発現系によるスズシロソウPDF1.3タンパク質の可溶性の検討
21	高橋 希香	青枯病菌によるマッシュルーム型バイオフィルム形成への細胞外DNAの関与
22	高橋 壮太	高知県産パプリカの機能性と色調及びその関連
23	高良 眞子	コールドショック発現系を用いた大腸菌システインデスルフィダーゼの発現条件検討
24	富田 和馬	高知県三原村における水田転換ユズ園の土壌特性に基づく類別の試み
25	新居 直人	アミノ酸定量のセンサーとして利用できる微生物酵素の探求
26	西岡 雄紀	スズメバチの警報フェロモンの探求
27	西坂 匠海	緑藻多糖ウルバン分解関連遺伝子群の多様性に関する研究
28	橋村 結	食用カンナにおける収量とミネラル集積の遺伝的変異
29	浜元 和輝	高知県産ミナミアオリに由来する抗菌物質の特性評価
30	本田 美羽	<i>Rhodococcus</i> sp. ASM1C由来L-アラニン脱水素酵素の酵素化学的的特性の検討
31	三浦 綾真	低濃度の耐凍剤を用いたマウス2細胞期胚のガラス化凍結保存におけるカルボキシル化 $\epsilon$ -ポリ-L-リジンの有効性
32	南 彩花	青枯病菌のシデロフォア活性検出法の開発とクオラムセンシングによる制御
33	南 悠花	オガタマを寄主とするミカドアゲハの産卵刺激物質の探求
34	宮田 真帆	巨大菌のポリγグルタミン酸合成調節領域
35	明神 真未	ツマグロヨコバイの産卵刺激物質の探求
36	矢野 諭稔	高知県四万十町のショウガ栽培圃場の土壌肥沃度評価
37	山田 晋輔	青枯病菌に対する <i>Nicotiana benthamiana</i> の防御応答におけるNonspecific phospholipase Cの役割
38	山本 洋志	ヨーロッパモリネズミの過挿卵誘起法の開発
39	吉田 晶	海底地下層試料及び海底表層マンガクラストから取得した遺伝子断片を用いての基質応答解析

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

NO	氏名	題名
1	芦田 ひなた	ブリにおける5種類のcocaine- and amphetamine-regulated transcript (CART) 遺伝子のうち、食欲抑制に関連する遺伝子の同定
2	池田 拓司	高知県野見湾の養殖カンパチにおけるα溶血性連鎖球菌症の新たな問題に関する調査研究
3	岩本 洋	高知県におけるアカザ2タイプの分布とそれらの交雑の有無
4	上田 健介	土佐湾の流れ藻に付随するブリ属稚魚の経月出現パターン
5	内田 ゆり菜	高知県国分川河口域に生息するカニ2種におけるマイクロプラスチック摂取
6	浦田 真平	海洋細菌による亜リン酸化合物の利用に関する研究
7	大竹 夢	高知県物部川下流域での環境DNA分析を用いたアユの生息モニタリングとアユ冷水病菌分布との相関把握、ならびに産卵親アユに対する本菌リスク評価
8	大塚 有希菜	免疫学的ならびに分子生物学的手法を組み合わせたシガテラ原因藻の新規探索
9	萩野 孝太	高知県国分川河口域におけるボラ稚魚のマイクロプラスチック摂取
10	斧 統麻	山形県豊上川水系および赤川水系のアブラハヤの遺伝的多様性とタカハヤ侵入による遺伝的攪乱の有無
11	梶谷 拓己	ウツボ筋肉のコラーゲン含量の部位間比較
12	桂 なな	海水温の変化が土佐湾に出現する熱帯性魚類の生息場をめぐる種間競争に与える影響
13	河崎 勇希	イカ類の卵塊およびその分泌組織に存在する培養可能な細菌種の関連性
14	公文 晃生	ヒラメ生体信号の計測とその解析
15	佐藤 尚	珪藻において導入遺伝子を高発現可能な新奇ウイルスプロモーターの探索
16	菅井 哲朗	シイラ ( <i>Coryphaena hippurus</i> ) 皮由来の酸可溶性コラーゲンの自己集合とAFM解析
17	高松 夏幹	イカ類の卵塊およびその分泌組織のプロテオーム解析の試み
18	竹尾 諒大	コイ用無魚粉飼料へのココロギミールの利用
19	寺山 大紀	組成の異なる塩で標漬したスケトウダラ冷凍すり身加熱ゲルの物性に対する標漬後の放置温度および時間の影響
20	早川 輝	海産微小珪藻 <i>Chaetoceros tenuissimus</i> の簡易的な長期凍結保存法の検討
21	藤田 瑞樹	異なる脂肪酸組成の油脂源を用いた際の高水温期ブリ当歳魚用飼料における至適脂質含量の検討
22	松浦 一輝	ヒラメ滑走細菌症の実験感染成立に関わる要因について
23	松永 香樹	各種魚病細菌に対するシアノアクリレートナノ粒子の抗菌活性
24	三門 哲也	有害藻 <i>Karenia mikimotoi</i> の発生に及ぼす環境諸因子の影響—光と赤潮形成の関係に着目して
25	村田 彩乃	ハコフグの毒化原因生物の解明を目指したその餌生物の網羅的解析
26	山下 美優	キンギョに寄生する単生類の種組成
27	山田 貴之	土佐湾におけるホタルジャコ科仔魚の分類および時空間分布
28	山本 航大	高知県鏡川下流域におけるアユ遡上調査、ならびに上流域におけるアユ流下調査と仔アユのアユ冷水病菌保菌調査

海底資源環境学コース

NO	氏名	題名
1	大木 貴弘	室戸岬付近の定置網における水温変化
2	片野田 航	北東太平洋の海山上で採取されたマンガンジュールの形成過程
3	小出 凌大	沖ノ島島へ着床するサンゴの卵・幼生の流路
4	近藤 桂	第四与那国海丘に産出する熱水鉱石の地球化学的特徴
5	重江 篤司	セリウム含有層状ペロブスカイト化合物の発見と基礎光学特性
6	瀬戸口 亮真	種子島沖泥火山から採取された堆積物の特性と起源
7	高倉 南実	被災後の衛生改善を目指した高効率微細気泡生成器の開発
8	竹本 純太	沖縄トラフ・多良間海丘に噴出する熱水の重金属元素
9	露口 博貴	浅海水深型pHセンサーの開発
10	中島 千晶	福島沖磐城海山のマンガクラストの産状と組成 —遠洋域の拓洋第5海山との比較—
11	福田 哲也	室戸沖、ODP Leg 190 1174サイトにおける地磁気層序と岩石磁気に関する研究
12	宮本 洋好	紫外分光光度法を用いた硝酸塩の現場分析方法の開発
13	村木 美波	SDGsの実現に向けたファインバブル製造装置開発と水素溶解への応用
14	山崎 直輝	銅置換ポリオキソメタレート錯体の電気化学的酸化還元挙動

海洋生命科学コース

NO	氏名	題名
1	池田 彩乃	渦鞭毛藻 <i>Heterocapsa circularisquama</i> に感染する大型ウイルスの二本鎖DNAゲノム性状に関する研究
2	石建 舞美	ヒドリド還元反応における立体選択性発現機構の解明
3	上野 和真	沖ノ島産イモガイ・ロウソクガイの毒線ペプチドの成分分析
4	太田 貴将	ブドウ虫からのプラスチック分解菌の発見
5	小野口 隼	キリンサイに含まれる抗酸化成分の探索
6	嶋田 泰成	無腸動物共生性渦鞭毛藻 <i>Symbiodinium</i> sp.の遺伝子概観の獲得
7	清水 彩杏	生分解性ポリマー-PHBHを構成する短鎖脂肪酸がエビの疾病原因細菌に与える増殖抑制効果
8	清田 修平	浦ノ内湾から分離された赤潮原因藻 <i>Heterosigma akashiwo</i> 殺菌性因子の性状解析
9	田崎 光	超原子価ヨウ素試薬を用いた立体選択的付加反応の反応機構解析
10	谷口 知未	ユウレイイカからの新属細菌の発見
11	豊川 春風	海洋深層水の特性を活かした餌料性付着珪藻の培養とそれを用いたアワビの新たな種苗生産法の開発
12	浜崎 洋輝	海洋性希少資源からの有用微生物の探索
13	藤田 浩志	RNA結合タンパク質による腫瘍血管新生の新規分子メカニズムの探索
14	古谷 貴大	生活史の違いによるヨシノボリ類の遺伝的差異
15	牧原 瑠生	西表島産アンフィジニウム属渦鞭毛藻の化学成分
16	増田 雄一	縮重PCRを用いた海底泥コアからの渦鞭毛藻感染性HcRNAVに近縁なウイルスの探索
17	湯城 智広	底生性渦鞭毛藻 <i>Amphidinium</i> sp.の生育環境と遺伝子発現レベルの関係性の研究
18	吉田 麻亜弥	四国西南部におけるベニクラゲ属 <i>Turritopsis</i> の季節的消長に関する研究
19	渡邊 龍樹	ヨロイソギンチャク( <i>Anthopleura uchidai</i> )の抗酸化物質探索研究

